

3-6 進路の決定

進路の計画

1. 題材設定の理由

3年生は進路決定の学年であることから、生徒たちはますます不安な気持ちを高めながら毎日を送っている。しかし、将来に夢や具体的な目標をもっている生徒は決して多いとはいえない。また、進路について教師や親と充分相談できる生徒が少ないのも実態である。

本来、進路選択は自分のめざす目標があってこそなされるものであり、十分な情報に基づいた相談も必要である。そこで、本題材では、先輩の進路選択をもとに、何のために進学したり就職したりするのかを考えることで、目標をもって進路選択を決定していくことの重要性に気づかせていきたい。

2. 指導のねらい

先輩の歩んだ道を参考にして、何のために進学したり就職したりするかを考えることで、目標をもって進路を決定していくことの重要性に気づくことができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・進路希望にかかわるアンケートをする。 ・アンケート調査の際に、保護者の考え方も聞く。
本時	・進路を決定していく上で、大切にしなければいけないことは何かを考える。
事後	・授業での感想をもとに、個別に相談や助言をする。

<説話例>

「自分の進路です。希望をもって……」

今、将来何になりたいと聞かれて、野球部にも入っていないのに好きだという理由だけで「プロ野球選手！」と答えると、教室から笑いが起こりそうです。どの子も自分の実力がどれくらいあるのかを感じているからでしょう。しかし、プロ野球選手を夢見て目をきらきらさせていた幼い頃の輝きは、どこへ行ってしまったのでしょうか。年を重ねるうちに少しずつ、少しずつそんな夢も

消えていったのかも知れません。

「自分の将来は、高校の3年間で考えよう」と思っている人も少なくないと思います。それも正直なところでしょう。しかし、現時点で「夢」や「目標」をもつ人とそうでない人とは、これからの学校生活への意欲もずいぶん違ってくるものです。（あれはだめ）（これはだめ）と切り捨てていった夢がもしあるなら、もう一度、家の人との相談の中の話題にしてみるのもいいと思います。自分の進路をもう少し、明るく前向きに考えてみることは、大切ではないでしょうか。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・具体的な目標のない進路選択が多いことに気づく。	◎学級内の進路希望調査の結果を見て、感想を交流する。 ・進学希望者がほとんどである。 ・普通科への希望が多い。 ・進路のことが気になっているわりには、相談をしていない。 ・希望理由に「理由なし」が多く、何となく高校へ行かなければならないと思っている。	・事前にアンケートを行い、グラフにしておく。 ・目的をもって進路を考えている生徒がいることにも気づかせていきたい。	・学級内の進路希望調査結果
課題：進路を決定していく上で、大切にしなければならないことは何かを考えよう。				
中心の活動	・資料を読んで、K子さんが自分の希望する進路を決定できたのはなぜかを考えることができる。	◎P.52「看護婦への道」を参考に感想を発表する。 ・自分の進路希望をしっかりとち、決定させていったK子さんはすごい。 ・親の反対を押し切ってまでも自分の希望を貫いたK子さんはりっぱだ。 ・最初、お母さんはK子さんのことを思っ て反対したんだと思う。 ・わたしなら、途中であきらめてしまい そうだ。 ◎お母さんが、K子さんの希望に反対した理由は何か考える。 ・どうせお嫁に行くのだから、何も看護 師にならなくてもいい。 ・遠くにあるので、交通費がかかる。近 くにM高校がある。 （私立高校だからお金もかかる） ・続かなかつたら、何にもならない。 （いい加減な気持ちでは続かない） ◎K子さんが、お母さんの反対を乗り越え、 進路希望を貫けたのはなぜかを考える。 ・しっかりとした目標（意志）をもってい たから。 ・お母さんとよく相談し、まわりの人（先生） の話もしっかり聞いた上で、決心したから。	・「自分だったら……」というよ うな感想は大切にしたい。 ・進路決定には、いろいろな 条件があり、いい加減な気 持ちでは決められないこと に気づかせたい。	・P.52資料 「看護婦 への道」 ・P.53①(1) ・P.53①(2) ・P.53①(3)
まとめの活動	・自分を振り返り、考え直したりこれから努力したりしたいことなどをまとめることができる。	◎今日の学習を振り返り、感想を発表する。 ・現在の自分を振り返り、進路決定に向けて、もう少し深く考えてみよう。 ・進路決定には、自分なりの目標が必要だ。 ・親をはじめ、まわりの人とも十分に相談して決めていきたい。	・本時のねらいに関わる感想を書いている生徒を2、3名指名し、発表させる。	・P.53②